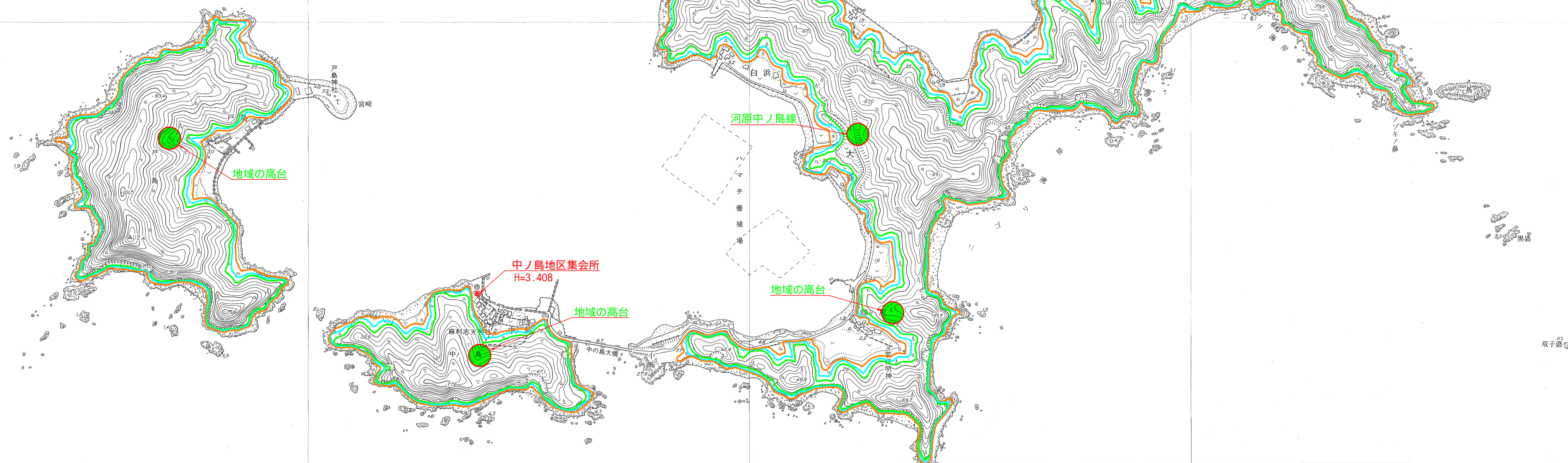


南地区(南)

地区別津波避難図上訓練マップ(家庭版)



地区別津波避難図上訓練マップ(家庭版)解説

須崎市では東日本大震災の津波による被害を教訓に、市民の皆さんと一緒に避難対策への取り組みを進めています。

大津波から命を守るために20メートル以上の高台などへ避難することになっていますが、地震の大きさや陸の地形によっては、さらに高い場所へ避難することも考えておかなければなりません。

このマップは津波から避難する高台などの目安と自宅や学校などで南海地震が起こった場合に備えて、避難する場所や道をあらかじめ確認するための図上訓練マップとして活用できるように作成しました。

図上訓練の前にお断りしておきますが、このマップは基図が古いため、現在の建物や道路は記載されていません。

ご家庭で現在ある道路や建物(自宅)、自身が避難する場所・道などをイメージ(載せて)して、津波からの避難を図上で訓練してみましょう。また、実際に避難訓練を行って、避難場所までの時間、危険箇所等の点検をしましょう。

他の地区のマップは各地域防災連絡協議会事務局(公民館等)で確認することができます。

津波から身を守るためのポイント

- 強い揺れや長い揺れを感じたらすぐに近くの高台などへ逃げる
- 警報が解除されるまでは避難場所からもどらない
- 家族の集合場所をあらかじめ決めておく
- 非常持ち出し品は避難に必要なものに限ること(ラジオ・懐中電灯・服用中の薬など)
- 日頃から避難訓練に参加すること

凡例

- 10メートルライン 緊急避難場所
 - 15メートルライン 海拔標高点
 - 20メートルライン 投票所海拔標高点
- 海拔表示ラインは、測量のポイントによってラインの内(外)側でも海拔が高い(低い)場合がありますのでご注意ください。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を複製したものである。(承認番号 平23情複、第720号)
この地図を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

発行：須崎市南海地震津波対策検討会・地域防災連絡協議会
このマップに関するお問い合わせ：須崎市地震・防災課
電話：42-1236 FAX：42-7320

